

海南市

きつもとじんじゃ

橋本神社

「菓子」は果物のことで、植えられた橘はその後改良され、優秀なミカンとして全国で植えられているそう。(写真左上：みかんの花)

【写真提供：海南市観光協会】

- 住所 和歌山県海南市下津町橋本779番地
- ☎ 073-494-0083 ● 駐車場：数台のみ
- 道が狭いため気を付けて走行してください



【お菓子発祥の地】

海南市にある橋本神社(きつもとじんじゃ)。ここには日本で初めて「橘」(現在のみかんの原種)を中国から持ち帰ったと言われる田道間守命(たぢまもりのみこと)が祀られています。昔は砂糖などの甘味がなく、田道間守命によって持ち帰られた橘は非常に貴重されました。その橘を加工した甘味が菓子とされていたので田道間守命を祀っている橋本神社がお菓子とみかんの発祥の地となっています。春になると桜が境内を美しく彩り、5月ごろには橘の花も可愛らしく咲き始めます。

【菓子祭について】

毎年4月の第一日曜日に全国銘菓奉獻祭(菓子祭)という非常に大きなお祭りを行っています。全国の菓子業者180社程度から銘菓の奉獻があります。菓子好きな方はぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

古座川町

クマノザクラ

古座川町で100年ぶりに発見された新種のクマノザクラ。古座川町には5か所程このクマノザクラを見ることができるおすすめの間所があります。

【写真提供：古座川町観光協会】

- 住所 和歌山県東牟婁郡古座川町池野山705-1
- ☎ 0735-70-1275 (古座川町観光協会)
- 時期：3月中旬～4月上旬頃



【約百年ぶりの新種の桜】

日本国内の野性の桜として100年ぶりに新種が発見され注目を集めているのが紀伊半島南部に咲く「クマノザクラ」です。昔から地域では、早咲きの山桜があるとその存在は知られていたものの、未報告の種であることがわかり、二〇一八年に正式に発表され広く知られるようになりました。古座川町は、タイプ標本木があることから、クマノザクラを町の花として指定。町内5ヶ所の見所マップの作成や、ホームページでは開花情報を随時更新するなどクマノザクラの魅力を発信しています。

